

これからの社会を共創していく 力の育成を目指して

愛知県立岡崎北高等学校
校長 松岡 伸高 氏



教育随想

生成AIをはじめとする高度デジタル技術の発展により、社会が急速に変化する中、学校には子供たちが、豊かな人生を自らの力で切り拓くとともに、他者との関わりの中で、社会を共創していくために必要となる資質・能力を育成することが求められています。そのために、身近にある課題や興味・関心のある問題の解決に向けた挑戦の繰り返しの中で、自ら学び・共に学び、その成果を自分とつなげる探究活動が重要になります。本校でも探究活動を通じて、課題の解決に主体的に取り組むことによって、社会を共創していくために必要となる資質・能力を育成していきたいと考えています。

未来を力強く切り拓く生徒に、高校生活の三年間を悩みながらも心を定め、自分だけのかけがえのない生



き方（道）を一生懸命に歩む、充実した時間にすることを期待して、本校の進路資料集において次のように伝えました。

「誰もが自分だけの道があります。その道の先にあるものが、自分の夢や目標へとつながるようにできるのは自分だけです。道は平坦なものではないかもしれません。高い目標や理想であればあるほど、長く険しい道かもしれません。しかし、是非とも、最大限の努力と工夫を重ねて、自分の歩むべき道を、自分で定めて

まっすぐに歩んでほしい。（中略）忙しいや苦しさを言い訳にせず、逃げず、諦めず、正面から突破してほしい。」

生徒一人一人が、学校でのさまざまな活動を通じて、自己の可能性を伸ばし、これからの社会を共創していくために必要な力を身につけられるよう、生徒の成長を力強く支援できる学校を目指し、今後も教育活動を推進してまいります。

（まつおか のぶたか）



令和7年9月1日

9月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
愛知県立岡崎北高等学校
校長 松岡 伸高 氏
- この人に聞く…………… 2
瀧山寺鬼祭り保存会
会長 中根 守久 氏
- 羅針盤…………… 2
技術・家庭科指導員
水越 裕介
- ふれあい…………… 3
竜南中学校
教諭 武藤 良子
- 特集…………… 4
科学を身近に
～分子科学研究所 創立50周年を迎えて～
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー… 8
早朝草刈り作業
(昭和59年)
- この本を…………… 8

伝承力

瀧山寺鬼祭り保存会

会長 中根 守久 氏



令和七年三月、「瀧山寺鬼祭り」が国の重要無形民俗文化財の指定を受けた。これは、愛知県で十三件目、岡崎市では初めてだという。今回の指定を中心となって支えた会長に話を伺った。中根氏の鬼祭りへの強い思いと深い愛情が垣間見えた。

—「瀧山寺鬼祭り」の思い出は—

まず浮かんだのは、小学校に入学する前の記憶です。大人たちが集まってきて、仁王門から堂々と出ていく姿をかつこいと思ったものです。

鬼祭り保存会は、滝町の町民により構成されています。鬼祭りには、鎌倉時代から続く口上と農業の所作を再現する「庭祭り」と「火祭り」とがあります。私の家は、その「庭祭り」を運営する「十二人衆」の家系でし

た。ですから、生まれたときから、鬼祭りに関わっていたわけです。「二月になると鬼祭りがある」と、当然のように思っていました。高校卒業後は四年間東京に出ましたが、毎年鬼祭りの時期だけは、大学の友達を連れて帰りました。全国各地から集まった仲間たちでしたが、巨大な松明が何本も本堂に入っていく様子を目の当たりにし、「こんな祭りは珍しい。とにかく素晴らしい」と驚き、褒めてくれたものです。うれしくも、誇らしくもある瞬間でした。

—なぜ、「瀧山寺鬼祭り」は絶えることなく続けることができたのか—

鎌倉時代から八百年もの歴史をもつ「瀧山寺鬼祭り」ですが、神仏習合や資金不足などの影響により、続けられなくなった時期も何度かありました。ただ、「こんなによい祭りがあるのに、ここでやめてしまうのはもったいない」と考えた、当時の町民が、力を合わせて再興させたと聞いています。町民の思いは強く、その思いがずっとつながっているのだと考えます。一生懸命お祭りを作る人がいて、その様子を小さな頃から見ているからこそ、「鬼祭りを残したい」という強い思いを抱くのです。私自身、鬼祭りも、この思いも絶やしてはいけなさと感じています。

また、滝町以外の方々と関わることも増えました。ある方に「祭りを守ろうという滝町の思い、『伝承力』

の強さを感じました」とおっしゃっていたいただきました。これは、人から言われて初めて分かるものでした。そこで鬼祭りの価値を再認識しました。

この度、十年がかりで国の指定をいただくことができました。特に、コロナが流行した二年間は苦労しました。祭りを開催するかどうかも含めて何度も話し合いを重ね、一般の観客を入れず、保存会のメンバーだけで祭りを行う決断をし、決行しました。あのときも、町民の意識の高まりを感じました。結果として、指定を受けるために必要であった映像資料の撮影もでき、保存会にとって貴重な経験となりました。

—滝町の「伝承力」を育んだものは—

コミュニケーションです。祭りをみんなで作り上げること、わいわい言いながら準備することも楽しいです。祭りが終わると、反省会です。世代を越えて語ります。こうした、一つのことを成し遂げたあとの交流も重要です。やはり祭りは、参加して初めてそのよさが分かると思います。鬼祭りにはこんなすばらしさがあるのだと、みんなで価値づけていくことも大事だと考えています。



氏名

なかね もりひさ

生年月日

昭和二十六年

三月二日

住所

岡崎市滝町



要求や条件の中で折り合いをつけ
最適な解決策を考える

技術・家庭科指導員

水越 裕介

技術・家庭科では、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指している。技術分野では、生活や社会における事象を技術との関わりの中で折り合いをつけて最適な解決策を考えることが大切である。

A教諭は、中学校一年生で「自分や家族が使いたくなる整理棚」の設計を行う授業を行った。導入で、五種類の整理棚を用意し、「自分や家族が使う調味料棚がほしいけれど、皆ならどの棚がよいか」と問いかけた。生徒は「大きいボトルも入れられる」「仕切りがあると倒れない」「持つところがあると便利」など、大きな機能に着目した。そこで、A教諭が新たな棚を提示すると「角が丸いからけがしにくい」と安全面に注目した意見が加わり、作成す



自分を認めるということ

竜南中学校

教諭 武藤 良子

四月。学級会で発言する姿や仲間のために率先して動くことや、自分の考えを素直に表現できるところがAさんのよさだなと感じていた。

でも実際には、Aさんは不安な気持ちと戦っていた。入学して二週目にいった面談で、「みんなと違う小学校からの入学だったし、人見知りなので、自分から話しかけることができません」と今にも泣き出しそうな様子で不安な気持ちを打ち明けてくれた。私は、「全てが新しい環境の中で、大変だったよね。Aさんの頑張りには私に伝わっているよ。これからお互いを知っていくことで、Aさんのよさがもつと発揮できるようになるよ」と伝え、背中を押したつもりだった。

ある日、Aさんの生活の記録に、「先生は、私のことを何人だと思

ますか」とだけ書かれていた。ただならぬ雰囲気を感じ、Aさんに話を聞くと、「私は、話し方も好きなこともみんなと一緒だけれど、どうしてもみんなと違う部分が気になって、一歩引いてしまします」と返ってきた。誰でも、自分の中にある「人と違う部分」が目がいくことがある。

Aさんは自分に自信がもてず、自分を出し切れない現状に悩んでいるのだと分かった。私はAさんを支えたいという思いで、「周りと違うと思うと不安になる気持ちはすごく分かるよ。でも、AさんにはAさんにしかないものがあるし、みんなにもその人にしかないものがあるよね。Aさんだけが違うのではなく、全員が違うのだよ。周りと違うことは自然なことだから、引け目に感じないで、Aさんだからできることを見つけてほしいな」とAさんに伝えた。するとAさんは、「いつも『自分なんて』と思って本当の勇気が出ないところを変えたいです。頑張ってみます」と答えた。そして後日、Aさんは体育大会のパフォーマンスリーダーに立候補した。

リーダー同士の話し合いで意見が割れてしまったとき、それまで黙っていたAさんが、「どちらも捨てがたいから一回目と二回目で両方使えないかな」と切り出した。「いいね」という周囲の反応に、Aさんはほっとしたような表情を見せた。私はA

さんに、「全員のことを思いやった、素敵な案だったね」と声をかけた。

学級全体での練習が始まると、Aさんは、困っているところはないかと一人一人に声をかけて回っていた。一歩踏み出すことができたのだろう。Aさんらしい方法で活動する姿が輝いていた。

修了式前日の学級の時間、Aさんは級友に向けて、「このクラスで個性の強いみんなと過ごせたから、自分も自分らしく過ごせるようになりました。それがこの一年でいちばん心に残っていることです。本当にありがとう」と語った。自分を認め、価値づける姿に、私はAさんの成長を感じた。



る上で大切にしたい視点が明確に示されていた。

大きさ、機能性、安全性といった視点を基に、生徒は前時までにスチレンボードで作った整理棚の模型の改善策を検討していく。Bさんは小物の出し入れがしやすいように板を斜めに配置し、機能性やデザイン性を重視した棚を考えていた。導入での話し合いを受けて、家族が物を出し入れするときの安全性を考慮し、角を丸くする部分を加えて構想を練り直す。そこへ、机間指導でBさんの作品を見たA教諭は、重さのある小物を入れるのに不安を感じ、「このままで重さのあるものが入るのかな」と問いかけた。Bさんは周りの生徒からのアドバイスも参考にし、残りの材料や釘の打ち方を工夫し、耐久性を上げる方法を思案する。小物を入れる棚を作るという目的に向かって、限られた材料の中で、機能性やデザイン性、安全性や耐久性といった条件の中で折り合いをつけ、よりよい作品を構想する姿があった。

最適な方法だと考えていても、新たな要求や条件が変われば、解決策も変わってくる。A教諭のように、技術に関する問題解決を通して、生徒が自ら要求や条件を整理し、目的に合わせた最適な解決策を模索できる授業を目指したい。

科学を身近に

～分子科学研究所 創立50周年を迎えて～

岡崎市明大寺町にある分子科学研究所が、今年で創立五十周年を迎えた。

一九五〇年代後半、若い研究者たちが、基礎概念や物質探求の新しい研究方法を開拓する研究所の設立を求めた。日本化学会による検討後、一九七三年に分子科学研究所、基礎生理学研究所、生理学研究所の設立が決定した。候補地には、京都府や静岡県など複数あったが、愛知教育大学の跡地があり、土地の広さや早期利用が可能であった岡崎市に設置が決まった。そして一九七五年、分子科学研究所が創設された。

分子科学研究所に勤めている研究者は、自分の研究結果が何につながるか、明確ではない基礎研究を行っている。そのため、研究結果がどのようなことに生かせるのか気付いてくれる研究者の存在も、重要なのだそうだ。

創設から五十年の間にBINAP触媒（※1）や多孔質炭素材料（MCND）（※2）の開発に成功した。それらは歯磨き粉やガム、新型燃料電池車などに利用され、私たちの生活を多方面から支えている。また「科学に興味をもつ子供たちが、少しでも増えてくれたらうれしい」「ヨーロッパのように、科学についての会話が日常生活で交わされるようになり、科学を身近に感じられる日本になってほしい」と願い、市内の学校で出前授業を行ったり、市民や教員に向けてセミナーを開催したりしている。創設以来、分子科学研究所は、科学の発展だけでなく、岡崎の教育の発展にも寄与している。

五十周年
記念式典



五十周年記念の
施設見学



※1【BINAP触媒】

当時分子科学研究所に在籍された高谷秀正助教授の基礎研究の結果、開発された触媒。その後、BINAP触媒を使った清涼剤・メントールの工業生産へ向けた研究を受け、メントール合成の工業化に世界で初めて成功した。今では、さまざまな生活用品へ供給されている。

※2【多孔質炭素材料（MCND）】

当時分子科学研究所に在籍された西信之教授が在籍された研究グループの基礎研究の結果、開発された触媒担持炭素。その後、日本の自動車会社との共同研究を経て、MCND搭載燃料電池が新型燃料電池車の心臓部へ使用された。

子供の学び



▲ 出前授業（新香山中）
【低温と私たちの生活、
そして超電導への道】



▲ 出前授業（小豆坂小）
【振り子の仕組みと活用例】

振り子は、今の世の中では使われていないものだと思っていました。けど、今でも二足歩行ロボットや自動立ち乗り二輪車など、私たちの身のまわりの物に振り子の力が使われているのを知って、びっくりしました。
(小豆坂小児童)

出前授業は、子供たちに科学を楽しんでほしいと思い、行っています。そして、出前授業をきっかけに、子供たちが科学に興味をもってくれたらいいと思います。

(分子科学研究所広報担当者)

【出前授業実施手順】

①研究所の総務課企画評価係と実施希望日程や内容を話し合う

②講師の先生と打ち合わせを行う

③出前授業を行う

【R7年度分子科学研究所にて依頼可能な出前授業（一例）】

- ◎薬品を使った有機化学の実験や、ストローでの模型製作を通じ、分子のおもしろさを体験する（鈴木敏泰氏）
- ◎電気回路とLED（豊田朋範氏）
- ◎液体窒素で探る物質の性質－理科の楽しみ方と使い方－（片柳英樹氏）



▲ 岡崎市小中学校理科作品展
へのブース出展



▲ 分子科学研究所への職場体験学習（美川中）

自分の目標を達成するにはたくさんの努力や知識が必要だと感じた。僕も、研究者のみなさんのように、世界中を輝かせることをしたい。そのために、中学生のうちから勉強をしっかりとしていきたい。
(美川中学生)

教師の学び



▲ 授業力・教師力アップセミナー専門編

一般の方の学び



▲ 分子科学研究所展示室



▲ 昨年度の分子科学研究所 一般公開



●表彰

◆令和7年度全国中学生カヌースプリント選手権大会

・中学生の部

○女子カヤック4人乗り 500 m

3位 新香山中

内田 真緒・鈴木 杏梨

沼沢 瑠那・小山日菜乃

○男子カナディアン2人乗り 500 m

5位 新香山中

小野田圭杜・中澤 一護

○女子カヤック1人乗り 500 m

5位 新香山中 市名 柚月

・中学2年特別レースの部

○男子カナディアン1人乗り ベストナイン 新香山中

中澤 一護

○男子カナディアン1人乗り ベストナイン 新香山中

末吉 悠真

○男子カナディアン1人乗り ベストナイン 新香山中

小野田圭杜

○男子カナディアン1人乗り ベストナイン 新香山中

末吉 悠真

○男子カナディアン1人乗り ベストナイン 新香山中

小野田圭杜

○男子カナディアン1人乗り ベストナイン 新香山中

小野田圭杜

◆第32回愛知県中学校カヌー大会

・中学生の部

○男女総合

優勝 新香山中

○男子総合

優勝 新香山中

○女子総合

優勝 新香山中

○女子カヤック1人乗り

優勝 新香山中 市名 柚月

○女子カヤック4人乗り

2位 新香山中

内田 真緒・鈴木 杏梨

沼沢 瑠那・小山日菜乃

○男子カヤック2人乗り

2位 新香山中

水野 樹・針生虎之助

○男子カナディアン2人乗り

2位 新香山中

小野田圭杜・中澤 一護

○男子カナディアン1人乗り

2位 新香山中 中澤 一護

○男子カヤック1人乗り

2位 新香山中 水野 樹

○女子カヤック4人乗り

3位 新香山中

市名 柚月・賛 沙奈

板倉 ゆい・外崎 伶奈

○男子カヤック4人乗り

3位 新香山中

水野 樹・藤川 耀斗

針生虎之助・山下 椰雲

○女子カヤック2人乗り

3位 新香山中

内田 真緒・鈴木 杏梨

○男子カナディアン1人乗り

3位 新香山中 末吉 悠真

◆第79回愛知県中学校総合体育大会

○バレーボール男子

優勝 矢作北中

○ソフトテニス

3位 矢作中

○男子団体の部

3位 河合中

○女子団体の部

3位 矢作中

○剣道競技

3位 矢作中

○女子団体の部

3位 矢作中

○男子個人の部

2位 矢作中 重富 晴陽

3位 矢作中 太田 瑛斗

○陸上競技の部

男子4×100mリレー

1位 岩津中

清川 龍昇・渡邊 拓実

吉見 温人・立田 輝

3年男子1500m

1位 南中 尾田 祥太

3年女子100m

1位 新香山中 原 芽咲

1位 新香山中

男子走高跳

1位 竜海中 田井中大和

男子走高跳

1位 竜海中 田井中大和

男子走高跳

1位 竜海中 田井中大和

男子走高跳

1位 竜海中 田井中大和

男子走高跳

1位 竜海中 田井中大和

・男子3000m

1位 福岡中 坂井 俊太

2年男子1500m

1位 六ヶ美中 柵木 快心

女子円盤投

1位 翔南中 鈴木 万結

男子400m

2位 岩津中 渡邊 拓実

男子800m

2位 六ヶ美中 村松 支葵

男子走幅跳

3位 常磐中 森本 獅生

男子四種競技

3位 北中 天野 翔太

○水泳競技

飛込の部

優勝 六ヶ美中 二階堂 律

・競泳の部

女子400m自由形

3位 六ヶ美中 種池 祐月

○柔道競技

男子60kg級

2位 六ヶ美中 岩月 颯真

男子55kg級

3位 六ヶ美中 岸本 武士

○テレーズ番組部門

優秀賞 竜海中

○ラジオ番組部門

最優秀賞 竜海中

○テレビ番組部門

優秀賞 竜海中

○パソコン部

優秀賞 竜海中

○パソコン部

優秀賞 竜海中

○パソコン部

○男子3000m

1位 南中 尾田 祥太

○女子四種競技

1位 竜海中 川瀬 彩葉

○3年女子100m

1位 新香山中 原 芽咲

○男子走高跳

2位 竜海中 田井中大和

○男子走幅跳

2位 常磐中 森本 獅生

○男子400m

3位 岩津中 渡邊 拓実

○男子四種競技

3位 北中 天野 翔太

◆2025年度中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会

小編成の部

金賞 矢作中

◆第42回NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会

ラジオ番組部門

最優秀賞 竜海中

○ラジオ番組部門

最優秀賞 竜海中

○テレビ番組部門

優秀賞 竜海中

○パソコン部

優秀賞 竜海中

○パソコン部

優秀賞 竜海中

○パソコン部

優秀賞 竜海中

○パソコン部

優秀賞 竜海中

○パソコン部

優秀賞 竜海中

○パソコン部

優秀賞 竜海中



令和7年度全国学力・学習状況調査における、岡崎市立小中学校児童生徒の結果について

1 調査分析概要（全国の平均正答率との比較）

(1) 全体の様子

小学校においては、算数は「よくできている」、国語・理科は「できている」状況にある。「知識・技能」に関する問題については、国語・算数・理科ともに「できている」状況にあり、「思考・判断・表現」に関する問題については算数が「たいへんよくできている」、国語・理科が「できている」状況である。

中学校においては、数学・理科が「たいへんよくできている」、国語は「できている」状況にある。「知識・技能」に関する問題については、数学・理科が「たいへんよくできている」、国語は「できている」状況であり、「思考・判断・表現」に関する問題については、算数・理科が「たいへんよくできている」、国語が「できている」状況にある。

※中学校理科は、本市に出題された公開問題の結果から分析している。

2 岡崎市教育委員会の指導改善等の取組

(1) 国語・算数・数学・理科における岡崎市の児童生徒の学力と、学習環境と学力との相関関係を詳細に分析し、学校での授業や家庭での生活習慣等の改善すべき内容を把握します。

(2) (1)の分析結果を受け、その授業改善案等を教育委員会が各学校へ伝え、必要に応じて担当指導主事等が学校訪問を行い、改善状況を確認したり、指導したりします。

(3) 各学校で行っている「教育診断アンケート（学校評価）」を利用して、学校や教員が自己評価を行い、日々の授業の成果と課題を明らかにし、新たな授業改善の具体的な対策を立て、取り組むように指示します。

(4) 教育委員会と学校は、家庭や地域と連携しながら、子供たちの生活習慣や学習環境が学力に反映することを周知し、改善を図る取組を行い、総合的な学力の向上に努めていきます。

3 留意点

(1) この調査は、子供たちの学習状況の改善を図るために参考とするものです。

(2) この調査で測定した学力や学習状況は、特定の一部分です。

(3) 学校では、成果と課題を把握し、授業改善に努めます。

(4) 家庭では、得意なこと・不得意なことを知り、また生活習慣の充実を図るなど、児童生徒が学習に意欲をもつて取り組める励ましや環境づくりをお願いします。

《小学校 6 年生》


科	調査結果から捉えられる傾向
国語	できている <ul style="list-style-type: none">・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することがたいへんよくできている。・事実と感想、意見などとの関係について叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することがよくできている。・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける力がやや弱い。・書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考える力がやや弱い。
算数	よくできている <ul style="list-style-type: none">・平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することがたいへんよくできている。・示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することがたいへんよくできている。・角の大きさについての理解がやや弱い。・数直線上にて1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾分分として捉える力が弱い。
理科	できている <ul style="list-style-type: none">・水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解することがたいへんよくできている。・赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現する力が優れている。・乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が弱い。・レタスの種子の発芽条件について差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現する力が弱い。
学習状況	・「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」児童は、そうでない児童に比べて正答率が高い。睡眠時間を十分に確保し、規則正しい生活を送ることができている児童が、高い正答率を得ている。
生活状況	・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した児童の割合は、全国平均を大きく上回り、「人が困っている時は進んで助けている」と回答した児童の割合も、全国平均を上回っている。
	・「分からないことやよくわかってほしいことなどがあったときに、自分で学び方を考え、工夫している」と回答した児童の割合は、全国平均をやや下回っている。

《中学校 3 年生》

科	調査結果から捉えられる傾向
国語	できている <ul style="list-style-type: none">・自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して話の構成を工夫する力がたいへん優れている。・書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることがよくできている。・資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する力がやや弱い。・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることが弱い。
数学	たいへんよくできている <ul style="list-style-type: none">・数量について、文字を用いた式で表すことがたいへんよくできている。・事象に対して、グラフから必要な情報を読み取る力がたいへん優れている。・必ず起こる事柄の確率についてたいへんよく理解できている。・式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することがやや弱い。
理科	たいへんよくできている <p>※公開問題（10問）</p> <ul style="list-style-type: none">・電熱線で水を温める学習場面における、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能がたいへん優れている。・探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りについて表現することがたいへんよくできている。・小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付け、地層を構成する粒の大きさと隙間の大きさに着目して分析し、解釈する力がやや弱い。 <p>※非公開問題（16問）</p> <ul style="list-style-type: none">・I R Tスコア集計値において、全国よりもたいへん高い値を示していることから、全体としてどの問題に対しても適切に回答できている。
学習状況	・「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれている」など、自己肯定感が高く、承認欲求が満たされている生徒の正答率が高い傾向にある。
生活状況	・「1、2年生のときに受けた授業で、P C・タブレットなどのI C T機器をどの程度使用したか」の質問に対して、「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した生徒が、全国平均を大きく上回る結果となった。
進路	・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた生徒の割合は、全国平均を大きく上回っている。
	・「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と答えた生徒の割合は全国平均を大きく下回り、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」についても下回っている。

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

相談窓口	電話番号	相談受付日時	あいちこころのサポート相談（SNS）
岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30	LINE 友だち追加・ID検索 @aichi_soudan 
あいちこころのサポート相談（SNS）	右QRコード	月曜日～土曜日 20:00～24:00 日曜日 20:00～翌月曜日 8:00	
愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～17:00	
あいちこころのホットライン365	052-951-2881	年中無休 9:00～20:30	
愛知いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間	

・カ
ッ
ト

小豆坂小

笠原真由美

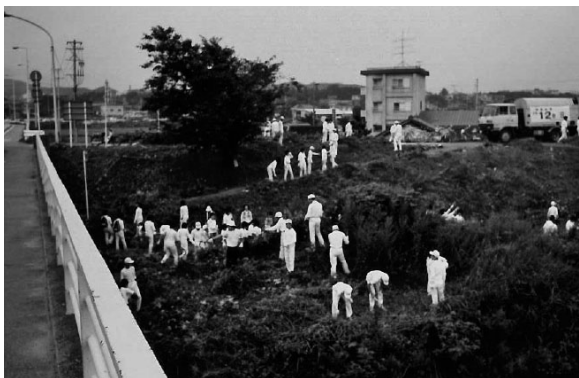
早朝草刈り作業 昭和59年

写真提供：美川中学校

昭和五十九年八月、美川中学校の生徒会は、PTAと共に河川美化活動を実施した。写真は、乙川大平橋堤防で行った早朝草刈り作業の様子である。

この活動は、学区の「美しい川」を自分たちで守りたいという当時の生徒の願いから始まった。毎年、生徒が主体となって活動内容の見直しを行い、現在では、「次の世代に清らかな流れを」というスローガンを掲げ、河川周辺地域のごみ拾いも行いうになっている。

自分たちが住む地域の美化に努めることは、ふるさと岡崎への愛を育む第一歩となるだろう。ふるさとや未来を大切に思う子供が増えることを願っている。



*「頑張れない」子をどう導くか 宮口幸治 田中繁富
筑摩書房 ￥900

心に残った一文

大人の学びが子どもの学びに繋がる。

「学びを通じて世界を理解する喜びや、どのような人間でありたいのかを探究する大人の姿勢は、言葉以上に子どもたちの心に響く」と著者は語る。大人が楽しそうに学ぶ姿だけでも子供に大きな影響を与えるということであろう。

図書室で本を読む私に、児童が「この本、おもしろいよ」と声をかけてくれた。一緒にその本を読み、感想を伝え合った。「子供たちを見守る」という表現を耳にするが、「子供たちから見られている大人」という視点の方が本質的かもしれない。大人の学びの姿勢が、子供たちの学習意欲やモチベーションを育てていく。

*子どもが本当に思っていること 精神科医さわ
日本実業出版社 ￥1,500

*学校が合わない子どもたち 前屋 毅
青春出版社 ￥1,100

*すごい科学論文 池谷 裕二
新潮社 ￥960

愛宕小学校 小嶋 勝彦

哺乳類を始め、すべての生物に備わる体内時計システム。この生体のメカニズムを分子レベルで解明に挑む研究者がいる。好奇心をきっかけにして研究を行う探究心に感動を覚える。

普段何気なく見ている事物現象から、不思議を見つける目や疑問を感じる心を、子供に育むことも、私たち教師の務めであろう。

登校した子供たちの笑顔には、二期への期待と少しの不安が見え隠れしていた。教師は、一人一人を丁寧に見取り、揺れ動く気持ちにそっと寄り添う必要がある。

教室は学びが深まる場であると同時に、心を育む空間でもある。だからこそ、日々の声掛けや支援を適切に行い、子供たちの成長に関わりたい。

ど ホ

ッ

長 月



▲あふれる喜び (新香山中)

杖に紐ひもるとも人に紐ひもるな。安易に人の助けをあたにする者を戒める諺である。しかし、中根氏は、「そんなに困ったということはありません。私一人では何もできないことを知っていますから」と、仲間への感謝を口にされた。永く続くものには理由がある。関わり、支え合うことで紡がれた歴史もまた一つの真実だろう。